

平成28年度
総務企画局予算要求方針

【目次】

- 1 平成28年度総務企画局予算要求総括表及び経営方針・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・4

1 平成28年度総務企画局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成28年度総務企画局予算要求総括表

【一般会計】

平成28年度要求総額 5,843,362千円
 (平成27年度予算額 5,438,131千円)
 前年度比 7.45%増

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成28年度 予算要求額 (A)	平成27年度 予算額 (B)	増減 (A-B)
新定住・移住促進事業	120,000	0	120,000
(仮称)女性活躍推進センター運営事業	14,389	2,500	11,889
新たな広域連携推進事業	8,000	3,900	4,100
世界遺産推進経費	85,973	45,000	40,973
新多文化共生による地域コミュニティ・エンパワメント創生事業	18,000	0	18,000

(2) 平成28年度総務企画局経営方針

総務企画局は、多様化する行政ニーズに対応し、市民に信頼される市役所づくりを推進するため、情報化の推進や、行財政改革、人材育成など全庁的な総合調整機能を果たしていきます。

また、平成27年10月に策定した「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、定住・移住促進や女性の就業・創業支援などを通して、少子高齢化・人口減少対策などの課題の解決に積極的に取り組んでいきます。

① 北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

《課題》

- ・少子高齢化・人口減少問題という大きな課題に直面する中、女性や若者の定着などにより、社会動態をプラスにしていく必要があること。

《方針》

- ・産官学金労言、議会・住民代表等からなる「北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会」及び市長を本部長とする庁内組織である「北九州市まち・ひと・しごと創生推進本部」が一体となって、「オール北九州」で地方創生の推進を図ります。
- ・移住・定住の促進を図る「北九州市版 CCRC」や平成28年5月に開設予定の「(仮称)女性活躍推進センター」を通じた取り組みなどにより、地方創生の「成功モデル」都市を目指します。

② 世界遺産登録決定に伴う資産調査の実施及び来訪者対応

《課題》

- ・平成27年7月の世界遺産登録決定に際し、ユネスコに対し資産の保全計画などの提出を求められていること。
- ・世界遺産の構成資産を活用し、市民のシビックプライドの醸成や、来訪者対応を図る必要があること。

《方針》

- ・管理保全計画の策定のため官営八幡製鐵所の構成資産（旧鍛冶工場、修繕工場）の建物調査を行います。
- ・旧本事務所眺望スペースへの来訪者等の熱中症対策のほか、子ども連れや海外からの来訪者向けの広報活動の展開・展示物の充実を図るとともに、登録から1周年の記念イベントを実施します。

③ 行財政改革の推進

《課題》

- ・ 地方自治体を取り巻く社会経済状況が刻々と変化する中、様々な行政課題に対応するとともに、「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「北九州市新成長戦略」を着実にかつスピード感をもって強かに推進するため、「北九州市行財政改革大綱」に基づき、より一層の「選択と集中」や経営改善に取り組み、持続可能で安定的な財政運営を行っていく必要があること。

《方針》

- ・ 北九州市行財政大綱に掲げた4つの改革の柱に沿って、さらなる「事務事業の見直し」や「業務の効率化」、「アウトソーシング」などに取り組むとともに、様々な財源の確保などの経営改善の取組みを着実に進めます。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進及び 新たな広域連携推進事業

IV-4 新規 ○北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業
30,000 千円

平成 27 年 10 月に策定した「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進するため、産学官金労言住からなる推進協議会、創生推進本部（市長を本部長とする庁内組織）の活用により、「オール北九州」で地方創生を推進していきます。

III-1 新規 ○定住・移住促進事業 120,000 千円

「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に人口減少対策の重要な柱の 1 つとして位置づける「定住・移住の促進」を図るため、「北九州市版 CCRC」の構築に向けて取り組みます。

VII-3 継続 拡充 ○新たな広域連携推進事業 8,000 千円
(うち拡充分 4,100 千円)

地方創生の取組の 1 つとして国が推進する「連携中枢都市圏構想」に基づき、近隣市町と連携協定を締結し、北九州市を中心とする「北九州都市圏域」を形成するほか、下関市との連携中枢都市同士の連携の可能性を検討します。

II-3 新規 ○多文化共生による
地域コミュニティ・エンパワメント創生事業
18,000 千円

地方創生の実現に向け、外国人にとって、住みやすい・住みたくなる環境を整備するために、ニーズに応じた生活支援を推進するとともに、外国人市民が、支援されるだけでなく、自ら地域の担い手となり活躍できるように自立力や共助力を伸ばす施策を推進し、地域コミュニティ・エンパワメントの創生につなげていきます。

(2) 女性の活躍を推進する取り組みについて

Ⅱ-3 Ⅳ-3
拡充

- (仮称)女性活躍推進センター運営事業 14,389千円
(うち拡充分 11,889千円)
女性の職業生活(就業・キャリアアップ・創業など)における活躍をワンストップでトータルサポートする「(仮称)女性活躍推進センター」を開設・運営します。

Ⅱ-3 Ⅳ-3
拡充

- 女性輝き!推進事業 20,000千円
(うち拡充分 5,000千円)
平成28年5月に開設予定の「(仮称)女性活躍推進センター」の機能充実を図り、更なる女性活躍の推進を図ります。

(3) 世界遺産を活用した取り組みについて

Ⅲ-2 新規

- 世界遺産構成資産保全経費 44,600千円
世界遺産登録された官営八幡製鐵所の構成資産(旧鍛冶工場、修繕工場)について、国・所有者と連携し、資産の保全に向けた建物調査を行うとともに、旧本事務所眺望スペースの環境整備を行います。

Ⅲ-2
継続 拡充

- 世界遺産推進経費 85,973千円
(うち拡充分 40,973千円)
世界遺産の来訪者対応のため、展示・ガイド機能、広報宣伝の充実などを行うとともに、世界遺産委員会報告資料のための調査や登録1周年の記念イベント等を実施します。